

大人

ほき
めたる
え

「校訓とともに」

じぶんから みんなと いっしょうけんめい

子ども

つみかさね

長崎市立外海黒崎小学校
令和5年度学校だより
令和5年6月14日(水)
校長 溝川 浩

めざせ!
「あ・は・は」の実践長崎一

～じめっとする毎日です～

コロナの次はインフル・・・。罹患した児童やご家族はこの時期辛いことと思います。報道はされませんが、いたるところでインフルエンザが流行している模様です。どうかお気を付けください。

さて、梅雨真ただ中です。学校では、半袖やランニング姿の子どもたちが、マスクを外し思い切り運動場で遊ぶ姿が見られます。数年間までの普通の光景がやっと見られるようになりました。一方で、マスク解除になったとは言え、授業中はマスク着用の子がまだ多いです。低学年は喜んで外し、中～高学年は半々の状況。いつかノーマスクの学校に戻れることを期待します。

じめっとする毎日ですが、子どもの健全な育ちに不可欠な「生活習慣」「学習習慣」「手伝い習慣」の3つの習慣を通じて、家庭での「つみかさね」をお願いいたします。

お知らせ・お願い

★8月9日式典には児童2人が参加
前回学校だよりでもお知らせしましたが、平和祈念式典に本校6年2人が、教頭引率のもと出席します。

★1年生の挨拶がとても気持ちいいです

本校では、登下校時に玄関で校長室や職員室に挨拶をする習慣があります。毎年度、1年生は校長室に来て「校長先生さようなら」と言って帰るのが伝統です。昨年度と同様、今年度の1年生は皆、元気はつらつと声で挨拶をし、お辞儀の前後に目を合わせます。社会性を育むつみかさねを大切にします。

★安全安心な集団通学になってきました

集団登校についてのお願いを前回学校だよりでいたしましたところ、次の日から確実な取組が見られるようになりました。実践する児童に感心しますが、保護者の皆様のご協力あつての結果です。感謝申し上げます。

継続が習慣となり、その子たちはいずれ、それが当たり前となります。互いに命を守り支え合う意識を育ててまいります。

★本校は電子書籍を利用しています

本校児童は、電子書籍で本を読んだり調べ活動をしたりできていることを存じていただき。これは、市内で数校、某出版社による電子書籍活用推進事業を受け、本校も昨年度から今年度までの2年間、無料利用をさせてもらっています。重い本の持ち帰りが不要となり、タブレットPC1台で読みたいものがいっつも読めるということです。読みすぎは目によろしくないのです。時間を区切り家庭で利用してください。

私が毎朝アーチ門に立つわけ

全国の学校では教員が校門に立ち、登校する児童・生徒と挨拶を交わす風景は、他国では見られない我が国の独特な文化の一つと言われます。

私が高校生の時、登校したら正門に強面(こわもて)の体育科教員がいつも立っていました。この先生の目的は「頭髪」「服装」のチェックです。40年程前の昔話になりますが、当時の高校生は表現力が豊かで、髪型はリーゼントやパンチパーマ、女子に至っては松田聖子を筆頭としたアイドル系ヘアスタイルが流行しました。上下黒の男子学生服は今と変わりませんが、フォルムがまた多様で・・・。

当時の中高生の学生服は、同じ学校なのに多様性は著しいものがあり、詰襟の長さ、学生服の着丈、ズボン足回りの大きさなど・・・。詳しくは、私と同年代前後の方に尋ね教えてもらってください。個性を主張するあの頃が懐かしいです。

因みに当時の私は、3年間ほぼ坊主(部活の上級生・OBの方針で・・・)、先輩から譲ってもらった2サイズ上の学生服とズボンでした。体育系の部活所属だった私は体育教員に気に入られていたこともあり、校門検査では難なく顔パス。気合の入った友達は、無理を承知で校則違反の頭髪(パーマ)で門を入ったとたん、そのまま強面軍団からどこかに連行されていったものです。その後については想像に任せます。

前説が長くなりました。当然ですが、私が毎朝、アーチ門に立つ目的は校門検査ではなく、登校する子どもたちが、私の立って待つ姿を見て安心して登校することができるようにです。遠くから歩いて通う子もいます。ある子は一人で。出津の子たちはバスで。広い校区に住む子たちが抱える登校事情は様々です。

私を道標に安心して安全に登校してくることを願い、毎朝、微力ですがアーチ門に立ちます。遅れて来ても笑顔で迎えます。安心して送り出してください。

担任のつぶやきから

担任との会話から次のようなつぶやきが・・・。

幾つか情報提供します。

- 授業前に筆箱を見ると、鉛筆が研がれてない。
 - 暑い季節に適したサイズの水筒を持ってこない子の熱中症が心配(今の子どもは水道の蛇口から出る水を飲みません)。
- お子さんの携行品を今一度確認いただくと幸いです。

～読み語りボランティアのご紹介～

地域におすまいの読み語りのボランティアの方。コロナ前までは、本校においていただき、子どもたちに読み聞かせをしてくださっていた方です。このたび、3年の休止を経て、来校して再びボランティアで関わりたいとの申し出がありました。

学校として喜んで受け入れますとともに、感謝の意を表します。

現在、読み語りボランティア計画を進めております。折に触れ、児童にも紹介予定です。